

志政が  
をる。  
市政を  
変える。

志政PRESS NO.2 発行:川村よしと「志政」

26歳  
無所属

川村よしと

あなたは次のうち、  
どれに当てはまりますか？

- A. 西宮には政治家が多いので、もっと数を減らすべきだ。  
B. 西宮の政治家の数は、今のままでちょうどいい。  
C. …そもそも、西宮に政治家って何人いましたっけ？

僕も、西宮に政治家が何人いるのか知りませんでした。  
でも、それはある日を境に大きく変わりました。

大学2年生の時に、初めて西宮市議会に足を運びました。  
その時の驚きは、未だに忘れることができません。

居眠りをする政治家なんて、テレビの中にしかいないと思っていました。  
彼らは、政治家という立場にしがみついているだけだと感じました。  
45人いる中で、西宮のことを真剣に考えている政治家は少しだけでした。

何が正しいのかは、まだ分かりません。  
でも、今のままではいけないことだけは分かります。  
だから、僕はこのまちのことを、みんなで考えたいと思うようになりました。  
「志ある政治=志政」を、みんなで創りたいと思うようになりました。

3分だけ、一緒に考えてみましょう。

**西宮に、市議会議員は何人必要でしょうか？**

**そして、このまちに本物の政治家は何人いるのでしょうか？**



川村よしと

1984年7月22日生まれ  
26歳。

趣味・特技はバスケットボール、  
剣道(県大会優勝、全国大会出場)  
関西学院大学経済学部卒業。  
浜学園国語科講師、(株)リンク  
アンドモチベーションを経て、  
現在は川村塾塾長。  
西宮の政治を、みんなで考える  
ために活動を開始。

Mail: kawamura@shisei-k.jp

住所: 西宮市段上町4丁目  
6番11-203号

<http://www.shisei-k.jp/>

# 来年の4月に行われる統一地方選挙から、市議会議員の議員定数が45人→42人に削減されることが決まりました!…って知っていましたか?

一般市民の僕らには、何が何やら…。でも、市議会議員の方たちは大騒ぎのようです。そこで今回は、この「議員定数削減」について取り上げてみました。

## Q.そもそも、議員定数ってなに?

分かりやすく言うと、選挙の時の募集人数のことです。議員定数が42人なら、選挙で42位以内に入れば当選です。議員定数は、そのまちの人口によって決められています。

法律で決められた議員定数の上限

～5万人未満	26人
5～10万人未満	30人
10～20万人未満	34人
20～30万人未満	38人
30～50万人未満	46人
50～90万人未満	56人
90～130万人未満	64人
130～170万人未満	72人
170～210万人未満	80人
210～250万人未満	88人
250万人以上	96人

西宮はココ!

西宮はこの法律ができた2002年に、議員定数を45人にすることにしました。そして来年の4月に行われる選挙からは、42人になることが決まっています。議員定数は、法律の範囲内でそのまち独自に決めることができるんですね。つまり、**僕たちが選挙で誰を選ぶかによって変わってくるわけです。**

## Q.なぜ議員定数を削減するの?

削減が決まった背景には、以下のような理由があると考えられます。

### 1. 経費を減らすため。

市議会議員1人当たりにかかる年間経費は、「給与+政務調査費+議会運営にかかる諸経費=約1600万円」です。給与や政務調査費等をカットすると、他に仕事をしていたり、政党や後援団体からお金を貰えたりしなければ、活動予算が苦しくなってしっかりした活動ができません。お金に余裕のある人しか政治家になれない、というのは良いことではないでしょう。シンプルに人員を減らすことで、経費を削減しようということですね。

### 2. 他のまちも削減する方向にあるため。

人口に近い他のまちと比べてみましょう。すべて、法律での上限は46人のまちですね。

まち	人口	議員定数	
川口(埼玉県)	49万人	40人	★6人削減!
市川(千葉県)	46万人	42人	★4人削減!
町田(東京都)	42万人	36人	★10人削減!
枚方(大阪府)	42万人	34人	★12人削減!

僕が調べたところ、法律よりも6名削減しているまちが最も多く(12市)、10名削減しているまちが次に多い(8市)という結果でした。

近くのまちと比べてみましょう。

まち	人口	法定 → 実際	
宝塚	22.5万人	38人 → 26人	★12人削減!
芦屋	9.3万人	30人 → 22人	★8人削減!

他のマネをしようということではありませんが、多くのまちが、法律で決められた人数より、議員定数を減らしていく方向にあるようです。また、国政でも、議員定数削減を公約に掲げて選挙をしている政党があります。つまり、政治家の数を減らすべきだという意見は、広く世の中に受け入れられていると考えられます。

## Q.川村くんは、どう思っているの?

「西宮では議員定数を15人にします!」

「おお、素晴らしいアイデアだ!」

さすがにそれは言い過ぎですが、**僕は議員定数をもっと減らしても良いと考えています。**

「定数を減らせば、少数意見を無視することになる」という考え方もあるようですが、全員の意見を反映させるなんて、とてもじゃないけどムリな話です。少数の意見に多くの人の意見が振り回されるのは、民主主義ではありません。

「地方分権が進むから、市議会議員はたくさん必要になる」という考え方もあるようですが、地方分権が進むと、どんな仕事が発生してどれくらい議員が必要になるのでしょうか?そもそも、地方分権って進むのでしょうか?不明な点が多いなあ、個人的には考えています。

確かに、選挙の時に新人候補が通りづらくなるかもしれません。確かに、議員定数を減らすことは、大きな後援組織を持つ人にとって有利に働くかもしれません。

それでも、僕は大学生の時に見た光景が忘れられないのです。

僕たちのまちのことを決める場に真剣に臨まない政治家が、本当に必要でしょうか?

**西宮に必要な政治家を減らすために、定数削減は有効な方法だと、僕は思います。**

ただ、定数を削減するには大きな条件があると思っています。それは、**僕たちひとりひとりが政治に参加することで、議会の中に本物の政治家を増やす**ように働きかけること。前回の西宮市議会議員の選挙の投票率は、約40%でした。選挙に行かない人が10人中6人。これは、「みんなが政治に参加している」状態とは言えません。

議員定数を削減しても、みんなが選挙に行かなければ、大きな団体の支援(組織票)のある人ばかりの市議会になってしまいます。

まず、**僕たち市民の側から行動すること。選挙にみんなが参加すること。**それが今、西宮の政治に最も必要なことだと、僕は考えています。

「人生の偉大な目的は  
知識ではなく、行動である」  
～トマス・ハクスリー～

## ◆みなさんの智慧を貸して下さい!

こんなチラシをせっせと作って配っていますが、西宮のことを本気で考えるには、少しでも多くの方の智慧が必要です。是非一度、ご連絡下さい。そして直接、意見交換しましょう!

## ◆バックナンバーも配達しています!

川村よしと「志政」のチラシは、今回が2枚目。創刊号は半年かけて、約40万枚配布させて頂きました。今回の議員定数の話以外のことにも触れているので、ご連絡頂ければ即日配達致します!